

# 「大鏡」花山天皇の出家

寛和2年(86)年)6月22日、19歳で宮中を出て、剃髪して仏門に入り退位した。突然の出家について、『栄花物語』『大鏡』などは寵愛した女御藤原し子が妊娠中に死亡したことを素因とするが、『大鏡』ではさらに、藤原兼家が、外孫の懷仁親王(一条天皇)を即位させるために陰謀を巡らしたことを伝えている。藏人として仕えていた兼家の三男道兼は、悲しみにくれる天皇と一緒に出家するとそのかし、内裏から元慶寺(花山寺)に連れ出した。このとき邪魔が入らぬように鴨川の堤から警護したのが兼家の命を受けた清和源氏の源満仲とその郎党たちである。安倍晴明の屋敷の前を通ったとき、中から「帝が退位なさるとの天変があった。もうすでに：式神一人、内裏へ参れ」と言う声が聞こえ、目に見えないものが晴明の家の戸を開けて出てきて一行を目撃し「たつたいま当の天皇が家の前を通り過ぎていきました」と答えたのである。

元慶寺へ着き、天皇落飾すると、道兼は親の兼家に事情を説明してくると寺を抜け出してそのまま逃げてしまい、天皇は欺かれたことを知った。内裏から行方不明になった天皇を捜し回った義懐と惟成は元慶寺で天皇を見つけ、そこでもども出家したと伝える。この事件は寛和の変とも称されている。

(<http://ja.wikipedia.org/wiki/花山天皇> より)

① 次の帝、花山院の天皇と申しましき。  
② 冷泉院の第一の皇子なり。

③ 御母、贈皇后宮懷子と申す。

④ 永観二年八月二十八日、位につかせ給ふ、

【ポイント】  
二重敬語

御年十七。⑤ 寛和二年丙戌六月二十二日の夜、

あさましく候ひしことは、人にも知らせさせ給はで、

【ポイント】  
敬語が本動詞であれば、何の動詞の敬語なのか。  
「〇〇」の【〇〇語】と書く  
↑ 動詞の終止形

⑥ みそかに花山寺におはしまして、  
御出家入道させ給へりしこそ、御年十九。

⑦ 世を保たせ給ふこと二年。  
⑧ そののち、二十二年おはしましき。

のことで、その夜

お

で | にな  
さ | せ  
せ | せ  
給 | な  
ひ | ひ  
け | た  
る | る  
に | ところ

明るか  
明かか

【一】と仰せられけるを  
【一】おっしゃつた帝

当然御出家をお  
やめになる

⑫ 神璽・宝剣

お  
渡り  
になつて  
しまつた

が心を動揺させ  
申し上げなさつ

が  
お

お渡し  
申

上|に  
な

とだと思

聞きました

【ポイント】  
指示語の指すところ

【ポイント】  
省略されている  
主語・目的語など

⑮ 明るい月の影を、まばゆくおぼしめし、つるほかに、

月の顔にむら雲のかかりて、少し暗がりゆきければ、

⑯ 「わが出家は成就するなりけり。」と仰せられて、

お  
歩き出し  
なさる  
うち  
歩み出で  
させ  
給ふ  
ほかに、

⑰ 弘徽殿の女御の御文の、日ごろ破り捨てず残し、御身も放たず

御覧になった  
の  
御覧じけるをおぼしめし出で、

⑱ 「しばし。」とて、取りに入りおはしましけるほどぞかし、

⑲ 栗田殿の、「いかに、かくはおぼしめしならせおはしましぬるぞ。

⑳ ただ今過ぎば、おのづからさはりも出で、まうで来なむ。」と、

噓泣き  
なさつ  
そら泣きし給ひけるは。

← 栗田殿の内心を書きなさい



